

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



津屋崎の砂浜で熱き戦い

ふくつビーチサッカーフェスティバル2019



▲砂に足を取られながらも懸命にボールを追う選手

ふくつビーチサッカーフェスティバル2019が8月24日と25日、津屋崎海水浴場で開催されました。ビーチサッカーとは、砂浜に設けた正方形に近いコートで行う、サッカー競技のことです。通常のサッカーは11人で競いますが、ビーチサッカーは5人で競います。この大会は、旧津屋崎町の頃から数えて今年で21周年を迎えました。

今年は県内外から41チームが参加。試合開始前には参加者全員で、試合の安全と海岸をきれいにするために、清掃活動を行いました。

試合は小学生の部と、一般の部に分かれて行われました。中には、参加選手の年齢の合計が200歳を超えていることが条件で行われる試合や、60歳代の選手がゴールを決めると4点が入るルールなどもありました。観戦していた人は「試合中に宙に上がったボールを追う空中戦がすごかった」と話してくれました。

福間のビーチがバルに変わる

福間海岸で福津バル

第2回福津バルが8月24日と25日、福間海岸一帯で開催されました。バル(BAR)とは、スペイン語で飲食店や酒場を指す言葉。福津バルは、事前に購入したチケットを使い、食べ歩きできるイベントでした。参加店舗では、それぞれの自慢の料理と飲み物の提供だけでなく、音楽やダンスのパフォーマンスもありました。また砂浜では、チケットで

お得にマリンスポーツを体験できるとあって、多くの人が参加していました。サップネスという、ボードを使ったフィットネスを体験した女性は「以前から気になっていていつか体験してみたいと思っていた」と話してくれました。2日間とも途中で雨に見舞われましたが、参加者は福津の海を眺めながら楽しんでいました。



▲夕日が照らす海岸を背に行われた音楽ライブ



▲子どもから大人まで多くの人が体験したサップネス

風情豊かな秋の風物詩

金刀比羅神社の秋季大祭



▲津屋崎千軒を練り歩く氏子たち

金刀比羅神社で9月9日に、県内の秋祭りの先陣を切って秋季大祭が開催されました。この祭りは五穀豊穡を祈念するもので、約300年前から行われています。氏子たちは本宮のある在自から、御旅所のある津屋崎千軒、津屋崎漁港まで練り歩き、立ち寄った神社などで獅子舞の奉納を行いました。大名行列を模した氏子たちが津屋崎千軒を通る姿を見ると、まるで江戸時代にタイムスリップしたようでした。

目標は自己ベスト更新

増田さんが全国障害者スポーツ大会に出場



▲なまずの郷RCの皆さんと走る増田さん(中央)

市内在住の増田澄玲さんが、10月12日(土)から茨城県で行われる全国障害者スポーツ大会に出場します。社会人2年目の増田さんは現在、週1回の限られた時間に練習しています。今回初めて県代表として、800mと1500mの競技で出場します。増田さんは「自己の記録を超えられるように走りたい」と話してくれました。

日頃の訓練の成果を競う

女性消防操法大会



▲標的に向け素早く放水

第4回県女性消防操法大会が8月25日、県消防学校で開催されました。市消防団の女性班も出場し、県内7チームの女性消防隊が軽可搬ポンプを使用した消火技術を競い合いました。4カ月間に及んだ練習の成果を発揮しましたが、惜しくも入賞には至りませんでした。出場した団員は「仲間がいたからこそここまでがんばることができた」と語りながら、大会に向け応援してくれた皆さんにも感謝の言葉を述べていました。

地域課題を「自分ごと」に

地域政策担い手育成キックオフイベントを開催



▲担い手の重要性について述べる原崎市長

新宮町、古賀市、福津市、宗像市(頭文字からしこぶむ地域)が連携し、地域政策の担い手の育成について考えるイベントを8月20日、古賀市で開催しました。各市町の発表者による話題提供の後、パネルディスカッションでは、「担い手育成のためには地域課題を自分たちの問題として捉えることが必要」など、活発に意見が交わされました。